

## RRS 中期目標・2022年度短期目標の検討

## ■ RRS 中期目標（5年先を見据えた目標）

2018年度中期目標の設定に関しては様々な提案があり、運営会議で、

- ①事業で必要とされるもの、②社会的に必要とされるもの、③運営として必要なものに絞り、検討の結果以下のように設定したが、5年先を見据え、2022年度も継続したい。

## 2018年度に改訂し、2021年度に作成したものを2022年度も継続

- ① HIV陽性者の現在と老後を見据え、医療福祉サービス事業者への情報提供をしていく
- ② 検査率向上を目標に、年間5,000人に対してHIV/AIDSの情報を伝えていく
- ③ 「レッドリボンさっぽろ」の目指す社会を実現するために、認定NPO法人を取得する。

## ■ 2021年度短期目標達成の評価と2022年度の短期目標

まず、以下のように提案をした2021年度の短期目標（中期目標の①～③に対応している）の達成度を、事務局で次のように評価した。全体的に2021年度は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の影響が大きかった中で、目標達成に向けて活動したことを大きく評価したい。

## ① HIV/エイズを取り巻くさまざまな相談の受け皿となる他団体の相談先をまとめた、情報提供先の資料を作成し、各事業での資料配布に向けた準備を行う。

→エイズ予防財団の助成を受けることができ、相談先をまとめた冊子を作成することができた。様々な活動の中での取り組みとなり、時間がない中で「HIV/エイズを取り巻く環境・背景はどんなことがあるのか」「その環境・背景を支援している団体はどこなのか」をリスト化し、約300団体に協力依頼の通知を送り、約60団体から協力を得られたこと、それを冊子にまとめることができたことは、大きく評価したい。

## ② スタッフの学習機会と捉え、勉強会を積極的に実施し、参加を促していくことで、知識のアップデート及びスキルアップを図る。

→この目標は、引き続き2021年度もコロナ禍での活動になり、活動制限が余儀なくされることを視野に入れ、設定した。活動が制限されることをポジティブに考え、内部の勉強会を積極的に行い、スタッフのスキルアップをする機会を目指した目標であったが、スタッフのマンパワー不足もあり、内部勉強会を積極的に行うことは難しかったと評価している。

そんな中でも、フリースクールからの講演依頼もあり、講演事業では久しぶりにスタッフ全体で「伝えること」に真摯に向き合うことが出来た。また、講演スタッフそれぞれのスキルアップにつながったこと、また、さっぽろレインボープライドの公式マガジンに掲載するHIV/エイズ対策ページでの対談にも関わることができ、HIV診療のブロック拠点病院の医師との対談はスタッフの情報のアップデート、スキルアップにつながっただけではなく、この情報を発信できたこと、以上のことは大きく評価したい。

**③ 認定 NPO 取得に向けて、会員数の拡大に努める（2019 年度より継続）。**

→活動が制限される中で、会員数の拡大に向けての大きな取り組みは出来なかったが、アクセスして下さった方もいた。

以上のように、2021 年度の各目標の達成度を評価し、また中期目標を達成するために、2022 年度の目標を以下のように、検討した。

2022 年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、2022 年度単年度で達成できることを念頭に置き、検討している。

**① HIV/エイズを取り巻くさまざまな背景を鑑み、他団体とつながる体制を構築していく。**

→2021 年度に行った道内の保健所への電話掛けや、道内の行政機関等に冊子作成にあたる協力依頼をお声掛けした際に、当会があまり知られていない現状があることを痛感した。HIV の感染不安や HIV 陽性者を取り巻く環境は、HIV の有無に関わらず、他団体の連携が必要になることが多いため、様々な団体とつながり、情報共有していく場を持っていくことは、今後の HIV/エイズの啓発の中で必要と考える。そのため体制づくりに努めていく。

**② スタッフが参加しやすい勉強会を実施し、参加を促していくことで、「HIV/エイズに関する知識」ではなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。**

→当会は、開設から「言葉で伝える」ということを大切にしてきたが、近年、マンパワーが多くないこともあり、スタッフ間での感受性を共有するような場が少なかった。外部に足を運ぶことが難しい状況もあるので、会の中で、知識的なスキルアップだけでなく、言葉の引きだしが増えるような、スキルアップの機会を大切にしていく。

**③ 活動の輪を広げるために、会員数の拡大に努める**

→今までは、「認定 NPO 法人」取得を目的にしていたが、これからも活動を円滑に進められ、また、さまざまな視点から活動を展開していくためにも、活動に参加できる会員を増やしていくことが大切であり、その先に認定 NPO 法人取得があると考えます。

以上の 2022 年度の短期目標 3 つを、事務局として提案したい。

## 【2022 年度 短期目標】

1. HIV/エイズを取り巻くさまざまな背景を鑑み、他団体とつながる体制を構築していく。
2. スタッフが参加しやすい勉強会を実施し、参加を促していくことで、「HIV/エイズに関する知識」ではなく、「感じる力」「考える力」「伝える力」などのスキルアップを図る。
3. 活動の輪を広げるために、会員数の拡大に努める。